

2015年(平成27年)

10月30日

福井新聞

スマホで内定者フォロー

サーフボード(福井)

ウェブ制作などのサーフボード(本社福井市開発2丁目、田嶋節和社長)は企業の人事担当者向けに、内定を出した学生を4月の入社までフォローするスマートフォン版サービスを開発した。学生が行動目標を決めて自己啓発を図る仕組みで、各社の戦略に沿った目標設定指導によって即戦力化を図ることもできる。学生と会社とのつながりを継続的に保ち、突然の内定辞退を回避する効果も期待できる。(山口晶永)

企業向けサービス開発

「ちゃくちゃくりくルート」と名付けた新サービスは、内定学生が設定した行動目標の達成状況をスマホで「見える化する」自己啓発プログラム。同社が提供するメンタル不調者の発見、予防に向けたサービス「こころの天気図」を応用し、県内の臨床心理士の指導で商品化した。

学生は、例えば「一日1万歩を歩く」「新聞を毎日読む」といった健康管理、生活習慣、マナーなどに関する目標を設定。日々、行動を振り返って「◎」「△」などのスタンプを付けてもらう。各社が求めるスキル、新人研修マニュアルに沿った目標設定を促すことも可能で、早期の即戦力化や学生のモチベーション維持につながる。

目標に対して1週間に4日以上、2週間続けられたら達成感と「おめでとう」画面が表示される。人事担当者らが学生の利用頻度をモニターでき、社長らからのメッセージ送付もできる。

学生指導、意思疎通に

お知らせ 成長の樹 スタンプ



内定学生が日々の行動目標を設定し、達成状況を確認できる「ちゃくちゃくりくルート」のスマホ画面

料金は利用者10人までが年間15万円。来年3月までに100社の導入を目指す。田嶋社長は「売り手市場で地方企業の採用が厳しくなる中、内定者のフォローは喫緊の課題。県内企業にサービスを利

用してもらい、多くの若者が福井に戻って活躍してほしい」と話している。
同サービスはサイト(Url: ps://www.chaku2.jp/1)で紹介している。問い合わせは同社☎0776(5)2134。